

金谷宿～日坂

かなや～につきか

○宿場データ：

- ・本陣：3 軒
- ・脇本陣：1 軒
- ・問屋場：1 軒 ・総家数：1004 軒
- ・人口：4271 人（男 2074 人 女 2197 人）

歩いた日： ☐ 晴れ ☐ 曇り ☐ 小雨

年 月 日

スタート（時刻 / 場所）：

:

ゴール（時刻 / 場所）：

:

歩いた距離：

km

歩いた歩数：

歩

金谷宿

金谷は東に大井川、西に小箱根といわれた金谷坂、菊川坂、小夜の中山と難所を控えた交通の要衝であった。島田と同じ規模で大井川の川越業務を行っていた。大井川を無事に渡った旅人は金谷宿で「水祝い」の宴を開いた。また川留になると金谷の旅籠だけでは足りず、旅人はその先の間の宿・菊川や日坂宿で逗留した。

宿の町並みは八軒屋橋の東の入り口から金谷坂手前の現不動橋のところまで16町24間（約1・8km）の長さで、江戸から京に向かう際には全体に緩やかな上り坂の町並みである。人口は四千三百人ほどで対岸の島田宿より少なかったのは平地が少ない地理的な事情によるものと考えられる。金谷宿には本陣が三軒あり、西本陣の柏屋は先祖の功によって家康より屋敷を拝領した家柄で、名主を務め宿場の有力者であった。

